

平成 21 年 9 月 16 日

各 位

会 社 名	ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 岩 田 彰 一 郎 (コード番号:2678 東証一部)
問 合 せ 先	
役 職 ・ 氏 名	総 務 統 括 部 長 小 口 巖 TEL 03-3522-8608

「2010 年 5 月 期 第 1 四 半 期 連 結 業 績 概 要」 の お 知 ら せ

「平成 22 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 短 信」 に 関 する 補 足 説 明 の 資 料 と し て、 添 付 の 「2010 年 5 月 期 第 1 四 半 期 連 結 業 績 概 要」 を お 知 ら せ い た し ま す。

な お、 本 資 料 に は、 当 社 の 現 在 の 計 画 や 業 績 の 見 通 し な ど が 含 ま れ て お り ま す。 こ れ ら 将 来 の 計 画 や 予 想 数 値 な ど は、 現 在 入 手 可 能 な 情 報 を も と に、 当 社 が 計 画 ・ 予 想 し た も の で あ り ま す。 実 際 の 業 績 な ど は、 今 後 の 様 々 な 条 件 ・ 要 素 に よ り こ の 計 画 な ど と は 異 な る 場 合 が あ り、 本 資 料 は そ の 実 現 を 確 約、 保 証 す る も の で は ご ざ い ま せ ン。

ま た、 本 資 料 へ の 公 認 会 計 士、 監 査 法 人 の 関 与 は ご ざ い ま せ ン。

以 上

2010年5月期 第1四半期連結業績概要

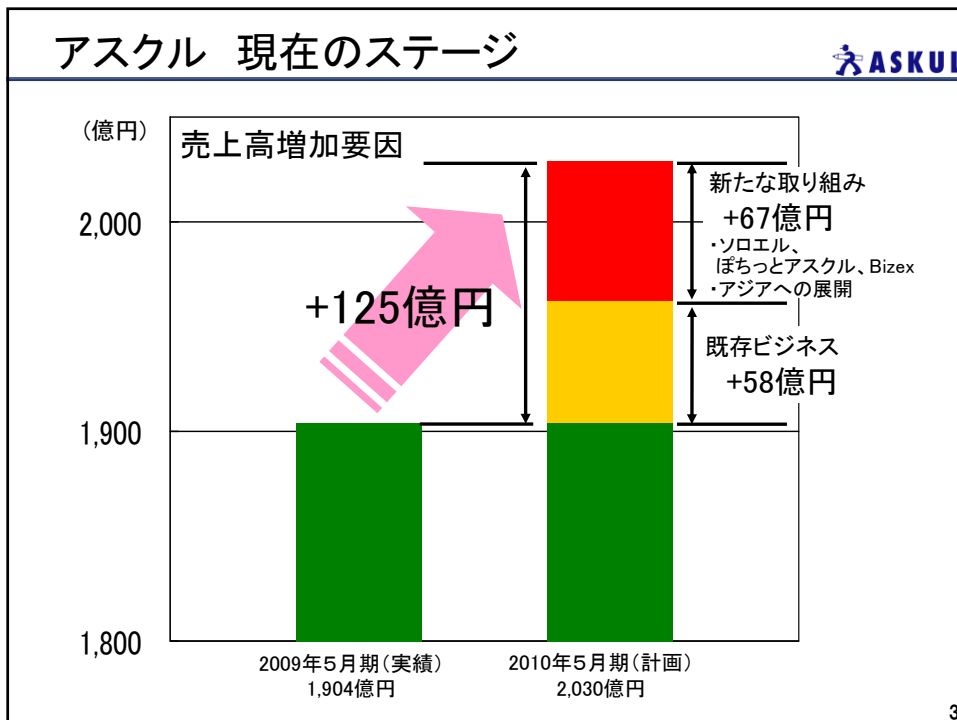
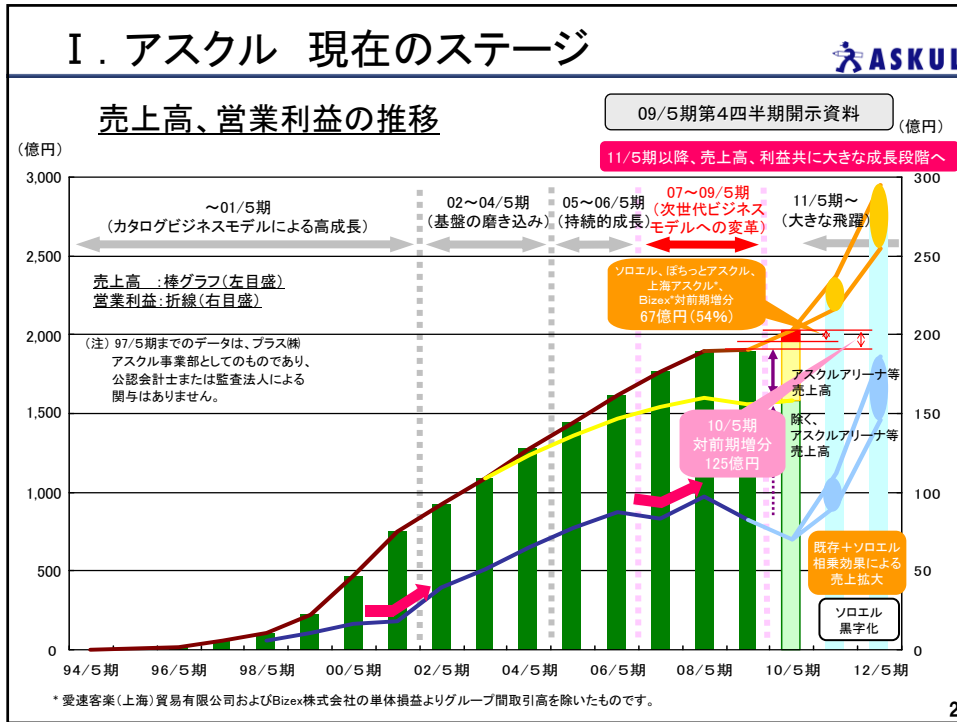


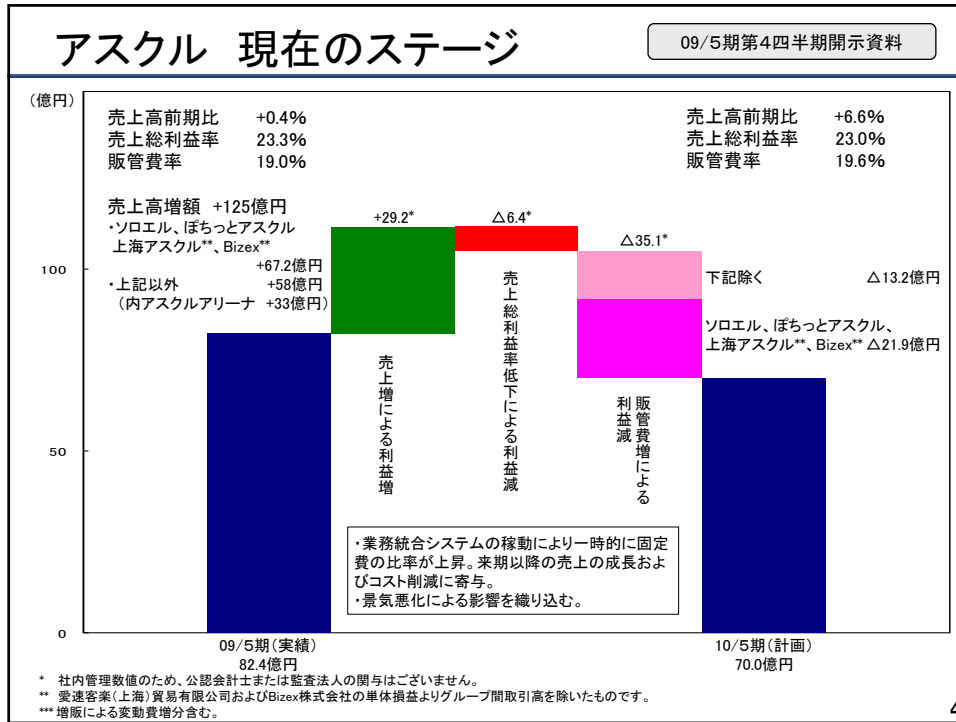
景気低迷が続く中
10/5期第1四半期は企業努力で増益達成
確保した利益を新たな販売促進策に展開

2009年9月16日
アスクル株式会社



- I. アスクル 現在のステージ
- II. 第1四半期業績の概要
- III. 通期業績の見通し
- IV. その他





Ⅱ. 第1四半期業績の概要



	2009/5期 第1四半期		2010/5期 第1四半期		前年同期比 (B)/(A)-1	差額 (B)-(A)	(ご参考) 上期進行率 (B)/(C)	第2四半期 累計計画 (C)
	金額 (A)	売上比	金額 (B)	売上比				
売上高	46,188	100.0	45,457	100.0	△1.6	△730	46.2	98,400
売上総利益	10,598	22.9	11,094	24.4	+4.7	+496	48.8	22,735
販管費	8,887	19.2	8,821	19.4	△0.7	△65	43.8	20,135
営業利益	1,710	3.7	2,272	5.0	+32.8	+561	87.4	2,600
経常利益	1,751	3.8	2,235	4.9	+27.6	+483	89.4	2,500
当期純利益	998	2.2	1,186	2.6	+18.9	+188	98.9	1,200

景気低迷が続く中、売上高は前期比で微減になったものの、インフルエンザ関連商材の牽引などにより、ほぼ計画通り推移いたしました。売上総利益率は、前期より継続して取り組んでいるサプライヤーとのコラボレーション、仕入原価低減活動の成果などにより計画を上回りました。販管費につきましては、引き続き低位安定したのに加え費用の月ずれ等もあり、利益は計画を大きく上回りました。

第1四半期の主なポイント



1. 売上高減による利益減 前年同期差 Δ 1.6億円
 売上高 454億円 (対前年同期比 Δ 1.6%)
 【主な要因】お客様企業の節約志向の高まりや、家具等の耐久財の
 需要低下によるお客様購入単価の減少
2. 売上総利益率上昇による利益増 前年同期差 +6.6億円
 売上総利益率 24.4% (対前年同期差 +1.5ポイント)
 【主な要因】継続的な仕入原価低減効果
 WEBを活用したキャンペーンなどの取り組みによって、
 主にオフィス生活用品など売上総利益率の高い商品の
 構成比率が高まる
3. 販管費減少による利益増 前年同期差 +0.6億円
 販管費比率 19.4% (対前年同期差 +0.2ポイント)
 【主な要因】継続したコスト構造改革によるローコストオペレーションの
 定着
 Bizex(株)との連結決算により、人件費が増加し配送費・業務委託費が減少
- 営業利益 対前年同期増加額 +5.6億円**

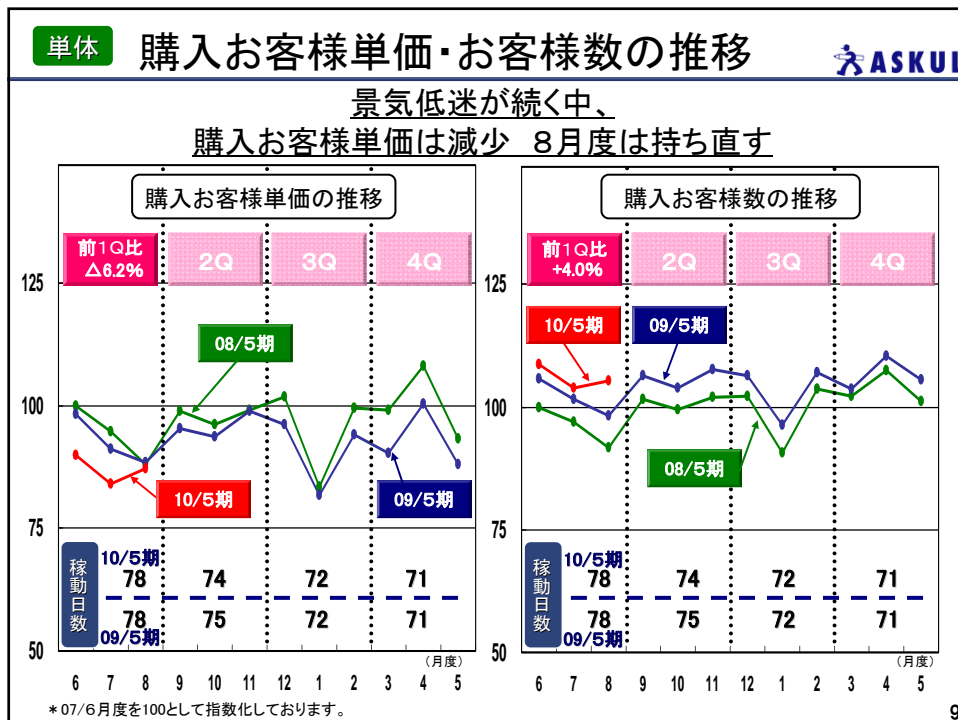
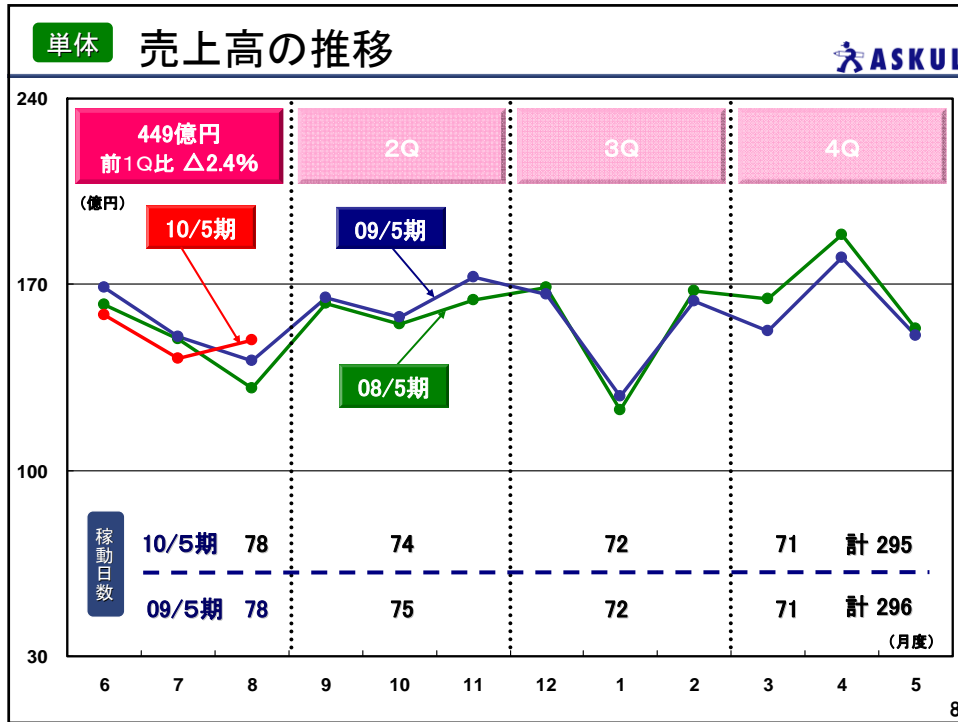
6

第1四半期の主なポイント



4. 設備投資 ほぼ期首計画通り 6.7億円
 (年間計画 27億円)
- 業務統合システム 4.5億円 (年間計画 13億円)
 (参考)
- 減価・ソフトウェア償却費 6.5億円 (年間計画 34億円)

7

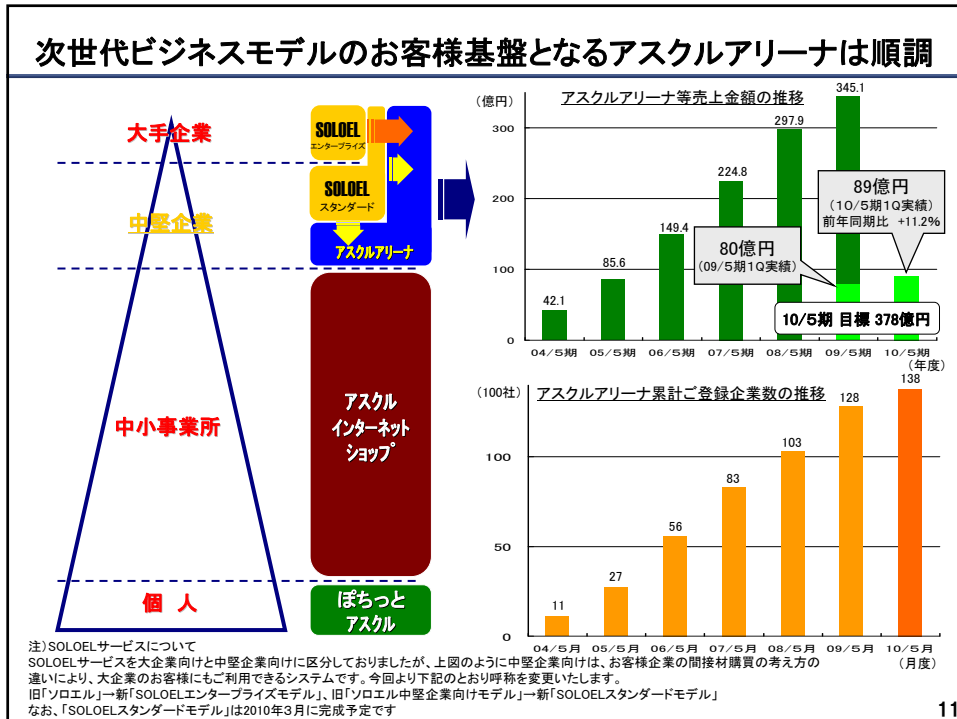


品目別売上高、粗利率(連結)

区 分	10/5期第1四半期			09/5期第1四半期	
	金額 (百万円)	粗利率 (%)	売上高前年 同期比(%)	金額 (百万円)	粗利率 (%)
OA・PC用品	19,425	21.9	△3.3	20,084	18.8
事務用品	10,268	26.1	△3.8	10,679	25.9
オフィス生活用品	9,330	27.7	+4.2	8,954	27.1
その他	3,126	17.7	+48.7	2,102	16.8
小 計	42,151	23.9	+0.8	41,820	22.3
オフィス家具	3,306	30.7	△24.3	4,368	29.4
合 計	45,457	24.4	△1.6	46,188	22.9

景気低迷が続く中で、需要が急減したオフィス家具の売上が前年を大きく下回ったほか、事務用品、OA・PC用品についても若干の影響が出ています。一方、オフィスにおける衛生対策需要の高まりを受けて、メディカル(その他に計上)や専門ショップを中心としたオフィス生活用品の売上が拡大しました。粗利については、サプライヤーとの取り組みにより、コピー用紙(OA・PC用品に含まれる)を中心に大幅改善しております。今後につきましては8月24日発刊の新カタログで価格改定等の新施策により、売上高・売上総利益額の拡大を図ってまいります。

10



11

Ⅲ. 通期業績の見通し



	2010/5期 第1四半期 実績			2010/5期 第2四半期 6ヶ月累計 計画			2010/5期 通期 計画		
	金額	売上比	前年 同期比	金額	売上比	前年 同期比	金額	売上比	前期比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
売上高	45,457	100.0	△1.6	98,400	100.0	+2.6	203,000	100.0	+6.6
売上総利益	11,094	24.4	+4.7	22,735	23.1	+2.4	46,690	23.0	+5.1
販管費	8,821	19.4	△0.7	20,135	20.5	+8.3	39,690	19.6	+9.7
営業利益	2,272	5.0	+32.8	2,600	2.6	△27.8	7,000	3.4	△15.0
経常利益	2,235	4.9	+27.6	2,500	2.5	△32.0	6,800	3.3	△17.5
当期純利益	1,186	2.6	+18.9	1,200	1.2	△38.6	3,300	1.6	△27.1

現時点では、第2四半期累計および通期の計画を据え置きます。

12

通期業績の見通し





第1四半期においては、売上総利益率の改善、販管費の減少により期初計画を上回る利益を達成しましたが、以下の点を考慮し現時点においては、第2四半期累計および通期の計画を据え置きます。

- ①今後の景気動向
- ②9月度発刊の新カタログによる政策効果の見極め
- ③新たな企画も含めた販売促進策の実施

今後の成長につながるお客様開拓を目指した、新聞およびインターネットを利用した広告活動の強化等

13

IV. その他	
<p>1. SOLOEL(ソロエル)・上海アスクルの進行状況</p> <p>2. ECO-TURN(エコターン)配送の推進</p> <p>3. 新カタログ発刊</p>	
	14

1. SOLOEL(ソロエル)・上海アスクルの進行状況	
<p>目標の変更無し 09/5期第4四半期開示資料一部追記</p>	
<p>「SOLOEL」10/5期目標 - モデル構築を完了させ、厳しい経済環境を追い風に成長をめざす -</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・SOLOELの本格展開開始 累計約300社への導入計画 ・間接材一括購買システム(スタンダードモデル)は、2010年3月に完成予定 ・共同購買推進 ・営業利益 △10.6億円見込み 	
<p>「上海アスクル」10/5期目標 - グローバル展開への基礎の構築を目指し中国での販売活動を本格化 -</p>	
<p>11/5期に単月黒字を目標とし、アジアへのグローバル展開のベースとなる事業モデルが完成予定。 当第1四半期は、上海アスクル新カタログ発刊を契機とする本格展開以前の実績(4月度から6月度まで)を連結しております。</p>	
	15

SOLOEL(ソロエル)の営業展開 ASKUL

セミナー等を活用した効果的な企業経営層・経営企画部門へのアプローチ

引き続き厳しい状況で推移する経済環境下、製造業の競争力強化に欠かすことのできない「コスト削減」をテーマに「ものづくり企業の経営戦略策定セミナー」に協賛しました。

主催：日経BPセミナー事業センター
会期：2009年7月28日
会場：目黒雅叙園

本セミナーには、製造業の企業経営層、経営企画部門を中心に245名の方が参加しました。

セッションの内容は参考になりましたか？
「ものづくり企業の経営戦略策定セミナー」アンケート結果より

回答	割合
大変参考になった	49%
参考になった	46%
どちらとも言えない	4%
参考にならなかった	1%

16

ECO-TURN(エコターン)配送の推進 ASKUL

企業の環境意識が高まるなか、配送に伴う廃棄物の削減を提案し、新しいお客様の獲得につなげる

CO₂排出量を年間約700トンCO₂削減

お客様先での廃棄物を削減する「ECO-TURN配送」が本年4月よりスタート。商品配送時に、リターナブル梱包資材(通い箱・通い袋)でお届けし、当社が回収・再利用する仕組みです。

9月14日より配送エリアの拡大を開始しており、梱包資材の削減量は、年間約1,200トン(CO₂排出量に換算して、年間約700トンCO₂)を想定しています。
(参考)09/5期の梱包資材使用量：8,548トン

参考：日本経済新聞 2009年9月12日 朝刊掲載

17

3. 新カタログ発刊



お客様の節約志向が高まる中、「安さにも、品質を。」を打ち出すことで競争力を高め、新たなお客様の開拓とともに市場シェアを獲得し、今後の景気回復局面において増収・増益を目指す。

メーカーとのコラボレーション強化により、利益確保に努める



4,200アイテムの値下げを実施
「アスクルカタログ 2009 秋・冬号」
09年8月発刊

18

新カタログ発刊



「安さにも、品質を。」備えた当社商品の認知の拡大

当社商品の持つ競争力のある価格と価格以上の品質を、多くのお客様に知っていただくため新聞に広告を掲載。

日本経済新聞 2009年9月8日 朝刊出稿

19

新カタログ発刊 

インフルエンザ対策などメディカル商材の充実

企業の衛生対策への関心が高まる中、当社が強いメディカル商品の特集を実施。また、医療・介護施設などメディカル関連のお客様のニーズに応えるため、「アスクル メディカル&ケア カタログ2009～2010号」「アスクル 医療材料カタログ 2009～2010号」を発刊。



アスクルカタログ2009秋・冬号



アスクル医療材料カタログ
2009～2010号



アスクルメディカル&ケアカタログ
2009～2010号

20

新カタログ発刊 

家具カタログを「アスクルカタログ 2009 秋・冬号」と合本することにより、お客様の利便性とコスト削減を実現

景気拡大局面では、オフィススペース丸ごとリニューアルなどのニーズが多かったため、オフィス家具は専門カタログ化していました。しかし、現在の経済環境においてオフィス家具は、追加備品等の消耗品的な購買が増えております。これをうけ、オフィス家具も他のオフィス用品と一緒に検索できる方がお客様にとって利便性が上がると思え、また、当社にとってもカタログ制作コストの削減が図れることもあり、この度、合本化を図りました。



アスクルカタログ2009秋・冬号



アスクルカタログ2009秋・冬号

21

《付録》



①インターネット売上高比率

	2010/5期 第1四半期	前期差	2009/5期 第1四半期
インターネット経由	58.6%	+2.0ポイント	56.6%
上 記 以 外	41.4%	△2.0ポイント	43.4%

(注1) 売上高比率は、受注ベースで記載しております。
 (注2) 各期第1四半期の単体実績を記載しております。

②オリジナル商品

(単位:SKU)

	2010/5期 8月度	前期差	2009/5期 8月度
オリジナル商品数	3,356	+262	3,094
カタログ掲載商品数	34,153	△1,084	35,237
売上高構成比	12.7%	1.3ポイント	11.4%

(注1) 各期8月度の単月・単体実績を記載しております。
 (注2) 売上高構成比には、オリジナル・コピーペーパーは含まれておりません。
 (注3) 各数値には、メディカル&ケアカタログ、メディカルプロカタログ、家具カタログ掲載品を含みます。

22

《付録》



③従業員数

	2010/5期 第1四半期末	2009/5期 第1四半期末
従業員数	746名	538名
外(倉庫内パート・アルバイト)	(165名)	(106名)

(注) 従業員数は就業人数(当社グループ外への出向者を除いております。)であり、倉庫内パート・アルバイトは、期間の平均人員を()外数で記載しております。

23

《付録》



④設備投資

(単位:百万円)

科目名	2010/5期 第1四半期		2009/5期 第1四半期
	金額	前期比	金額
【設備投資額】	674	△6.2%	718
有形固定資産	73	+18.3%	62
無形固定資産	600	△8.5%	656

(参考)

リース契約金額	12	+658.9%	1
建設仮勘定(注2)	27	+193.0%	9
ソフトウェア仮勘定(注2)	4,278	+362.2%	925

(注1)設備投資額は発生ベース額にて記載しております、減少分は反映しておりません。

(注2)建設仮勘定およびソフトウェア仮勘定は一部消費税等を含んでおります。

(注3)2010/5期 第1四半期における主な設備投資は以下の通りであります。

業務統合システム 4.5億円

24



(ご注意)

この資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予想したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。また、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

25